

【令和5年度 中小学校 研究構想】

【学校の教育目標】 **学び合う子 心豊かな子 元気な子**
(かしこく やさしく たくましく)

【めざす児童の姿】

- ・基礎・基本を身に付け、問題解決のために粘り強く取り組む子。
- ・根拠を明確にししながら、仲間と対話をし、学びの楽しさ（分かり合う、深め合う、広がる 等）を味わえる子。
- ・学んだことを、次の学びや生活にかす子。

【児童の実態】

- 仲間の考えを、素直に受け止めることができる。
- 与えられた課題に対して積極的に取り組むことができる。
- △自ら課題を見つけて取り組むことに弱さが見られる。
- △仲間と関わって課題を解決しようと粘り強く取り組む姿が弱い。

【研究主題】

仲間と共に主体的に学び合う子の育成

～「確かな学力」の育成に向けて、自ら学び続ける力を身に付けることを目指して～

【研究仮説】

単元を通して育てたい資質・能力を明確にし、主体的に学び合う学習活動を位置付け、**終末の活動**を工夫することによって、主体的に学び合う子を育成することができる。

【研究内容】

- 1 育てたい資質・能力を明確にした単元構想の工夫
 - ・他学年との系統性をふまえた児童の実態把握とつけたい力を身に付けさせるための単元構想の工夫
- 2 主体的に学び合う学習活動・**学び方**の工夫
 - (1) 必然性のある課題の設定
 - (2) 主体的・対話的に学び合う学習活動の工夫
- 3 **自ら学び続ける意欲を喚起する終末の活動**の工夫
 - ・自己の伸びを実感できる評価